

令和 8 年 9 月 15 日

各 位

茨城県信用組合

令和 8 年度「しんくみの日週間」の活動について

茨城県信用組合（水戸市、理事長 幡谷 礼二郎）は、令和 8 年 9 月 1 日（火）～令和 8 年 9 月 7 日（月）の「しんくみの日週間」に合わせ、社会貢献活動の一環として下記の活動を実施いたしましたので、お知らせします。

当組合は、今後とも地域の活性化や社会貢献に取り組んでまいります。

＊信用組合業界では、平成 14 年度より、9 月 3 日（クミ）を「しんくみの日」と定め、9 月 1 日～9 月 7 日を「しんくみの日週間」として設定し、様々な社会貢献活動やイベントを実施しています。

記

○フードドライブ活動

令和 8 年 9 月 2 日（水）、認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ（水戸市、代表 横田 能洋）、特定非営利活動法人 フードバンク茨城（牛久市、理事長 大野 寛）の 2 団体へ食料品等を寄贈いたしました。

各家庭で使い切れない食品等を役職員等から収集した結果、7,845 点・約 3 トンの食料品等を寄贈することができました。



（写真左より）

茨城 NPO センターコモンズ古山理事、当組合幡谷理事長

当組合渡邊会長、フードバンク茨城古川理事

○献血運動

茨城県赤十字血液センターの協力により、令和 8 年 9 月 3 日（木）本店駐車場にて献血活動に参加いたしました。その他、献血バスの運行による臨時献血会場、献血ルーム等にて献血を実施しております。

当組合は平成 22 年 10 月に日本赤十字社の「献血サポーター」となり、献血の実施は、今回が 17 回目となります。



○花の種（フレンチマリーゴールド）の配布

全信用組合による統一活動の一つとして、「しんくみの花」である花の種（フレンチマリーゴールド）を、各営業店での「花いっぱい運動」やお客さまへの来店プレゼントとして活用いたしました。

＊フレンチマリーゴールド

信用組合コミュニケーションマークの
ブランドカラーを連想
花言葉：いつもそばに置いて



以上

